

おばま市議会だより

No. 158



- 議会報告会を開催しました P2
- 12月定例会の概要 P3
- 議員定数について P6
- 市政を問う！一般質問 P8



杉田玄白像

議会報告会を開催しました

平成30年11月2日（金）、8日（木）、16日（金）の3日間にかけて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。最初に、議会定例会と空き家対策について報告。その後の意見交換では、皆様から貴重なご意見を数多くいただきました。

○議会報告会とは？

小浜市議会基本条例（平成25年4月1日施行）により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からのご意見を議会に反映させることとしています。

いただいたご意見は議会報告会連絡会（構成／議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、各班班长）において整理し、必要に応じて政策討論会（全議員）での自由討論等を経て、政策立案や理事者へ提言します。

また、その他のご意見は理事者に回答を求め、「議会報告会実施報告書」としてまとめて、後日、各地区公民館にお届けするとともに、小浜市議会のホームページに掲載しますのて、ご覧ください。

○各会場の参加者数

今回は、合計271名の方に参加いただきました。

前回と比べると23名減少しましたが、各地区で有意義な意見交換ができました。

今後とも、多くの市民の方と自由に意見を交わせる場になりたいと思っています。

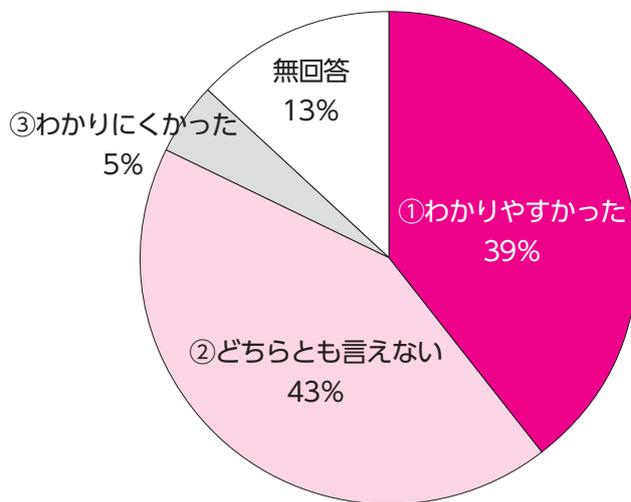
特に、若い方や女性のご意見をお聞きしたいので、ご参加をよろしくお願いたします。



参加者数の推移

議会報告会開催月	参加者(人)
平成27年10月	248
平成28年5月	266
平成28年10月	283
平成29年5月	338
平成29年11月	299
平成30年5月	294
平成30年11月	271

アンケート評価



各地区の参加者数



12月定例会の概要

平成30年12月定例会が11月30日から12月21日まで22日間の会期で行われました。

今定例会では平成30年度小浜市一般会計補正予算、国民健康保険事業と介護保険事業の特別会計補正予算2件の補正予算関係議案3件。

その他として、まちなか交流施設と水産業活性化拠点施設の指定管理者の指定2件と、市道路線の変更、障害者介護給付費等支給審査会の共同設置の廃止、若狭広域行政事務組合の共同処理する事務の変更および規約の変更の議案5件。
消費税増税中止を求める意見書の提出を求める陳情1件。

追加補正予算として、一般会計補正予算と国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業、簡易水道事業、下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落環境整備事業の特別会計補正予算7件、

水道事業会計補正予算の議案計9件。

条例関係として一般職の職員の給与に関する条例の一部改正と、特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正、市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正の議案3件。

北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書1件。

人事案件として教育委員会委員の任命と加斗財産区管理委員の選任についての議案2件。

以上22件の議案、陳情1件、意見書1件について慎重に審議しました。

議案等は4ページの平成30年第4回定例会採決結果を、議案等の審査の主な内容については5ページの委員会審査をご参照ください。

【可決した平成30年度補正予算】

会計名	既決予算額	12月補正額	合計
一般会計	163億 9,620万円	2億 6,604万円	166億 6,225万円
特別会計	89億 3,205万円	1,706万円	89億 4,911万円
企業会計	9億 1,916万円	23万円	9億 1,939万円
計	262億 4,741万円	2億 8,334万円	265億 3,075万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります。

議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

一次回定例会の日程

2月21日 (木)	本会議
2月22日 (金)	本会議
3月14日 (木)	一般質問
3月15日 (金)	一般質問
3月22日 (金)	本会議

今月の表紙

第17回杉田玄白賞の表彰式・記念講演会が12月15日(土)に公立小浜病院で開催されました。

表彰式に先立ち、杉田玄白・中川淳庵顕彰祭が実施され、両先生の遺徳を偲びました。

杉田玄白賞は金沢大学大学院教授の山田正仁氏、同賞奨励賞は帯広畜産大学教授の平田昌弘氏(小浜市出身)が受賞されました。

また、栄閑院(東京都)より小浜市へ杉田玄白像が寄贈されました。

像は2月までは小浜市役所で、その後は公立小浜病院で展示する予定です。

平成30年第4回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	平成30年度小浜市一般会計補正予算（第5号）
	平成30年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小浜市一般会計補正予算（第6号）
	平成30年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
	平成30年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
	平成30年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第2号）
	平成30年度小浜市水道事業会計補正予算（第2号）
条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
	小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
	小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について
指定管理	小浜市まちなか交流施設の指定管理者の指定について
	小浜市水産業活性化拠点施設の指定管理者の指定について
意見書	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書
人事	教育委員会委員の任命について（山崎正博氏）
	加斗財産区管理委員の選任について（木橋俊幸氏）
	加斗財産区管理委員の選任について（家山忠勝氏）
	加斗財産区管理委員の選任について（平井良和氏）
	加斗財産区管理委員の選任について（梅崎俊一氏）
	加斗財産区管理委員の選任について（森下薫氏）
	加斗財産区管理委員の選任について（土井銀太郎氏）
	加斗財産区管理委員の選任について（植田一氏）
その他	小浜市道路線の変更について
	若狭地区障害者介護給付費等支給審査会の共同設置の廃止について
	若狭広域行政事務組合の共同処理する事務の変更および規約の変更について



【採決表示ボタン】

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後約2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会 検索

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員（可決・採択） 多=賛成多数（可決・採択） 否=賛成少数（否決・不採択）
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥（規定により採決に加われない）
 棄=棄権（採決時に退席）

項目	件名	採決結果	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	西本清司	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	三木尚	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	清水正信	池尾正彦	賛成	反対
陳情	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	16

※藤田善平議員は議長のため採決には加わっておりません。

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病氣見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）

また、政治家に寄附をしよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

委員会審査

予算決算常任委員会

◆小浜市庁舎省工不改造事業

8056万8000円

【説明】空調機が老朽化による性能低下で適正な温度管理ができなくなり、さらに故障や警報が頻繁に発生している。

コストとCO₂削減を旨指し省エネ機器を導入する補正。

【問】配管調査の必要性と機器交換に伴う6階の旧機器撤去は。

【答】配管詰まりと思われる冷暖房が効かない空調ユニットが数カ所あるので、ファイバースコープ等で原因究明する。

旧機器の撤去は約2000万円かかるので、今回は見送る。

【問】空調設備以外の市庁舎の修繕計画は。

【答】経費節減の効果が高い照明器具のLED化を優先的に行い、その後は放送設備、エレベーター、

外壁タイル、給排水設備の更新・点検を考えている。

◆公民館施設維持補修費

473万7000円

【説明】施設の老朽化により、公民館施設の雨漏りが深刻な状況となり、緊急的に修繕が必要になったための補正。

【問】公民館の耐震化と雨漏り等の修繕の計画や修繕方法は。

【答】耐震化は大規模なコストがかかることから、耐震化工事計画を策定し計画的に行う。雨漏り等の修繕についても大規模な案件は振興実施計画により行うが、今回のような突発的な案件で、ある程度原因が特定できるものは、部分的な修繕で対応する。

総務民生常任委員会

◆議案第75号 若狭地区障害者介護給付費等支給審査会の共同設置の廃止について

【説明】小浜市、高浜町、おおい町、若狭町における若狭地区障害者介護給付費等支給審査会の共同設置を廃止することについて、関係地方公共団体と協議したので、議会の議決を求めるもの。

【説明】小浜市、高浜町、おおい町、若狭町における若狭地区障害者介護給付費等支給審査会の共同設置を廃止することについて、関係地方公共団体と協議したので、議会の議決を求めるもの。

◆議案第76号 若狭広域行政事務組合の共同処理する事務の変更および規約の変更について

【説明】若狭広域行政事務組合の共同処理する事務に「障害支援区分認定に係る審査および判定に関すること」を加え、同組合規約を変更することについて、関係地方公共団体と協議したので、議会の議決を求めるもの。

【説明】若狭広域行政事務組合の共同処理する事務に「障害支援区分認定に係る審査および判定に関すること」を加え、同組合規約を変更することについて、関係地方公共団体と協議したので、議会の議決を求めるもの。



◆陳情第8号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書

【意見】今後毎年金額の削減や医療、介護などの社会負担増が考えられることから増税はやむを得ない。

【意見】次の世代に多大な負担を先送りしないためにも、我々の時代でプライマリバランスを改善する必要がある。

【意見】低所得者層には負担が大きいという考え方があがるが、食料品など生活に深くかかわっているものについては軽減税率を適用しており理解が必ずや。

産業教育常任委員会

◆議案第72号 小浜市まちなか交流施設の指定管理者の指定について

【説明】平成31年4月1日から5年間、株式会社オーイングを小浜市まちなか交流施設（小浜市まちなかの駅）の指定管理者に

指定するもの。

【問】指定管理を行うにあたり市のかかわり方は。

【答】指定管理者の裁量を優先しつつ、指定管理者にできるだけ負担がかからないよう協議をしていきたい。

【意見】3駅連携構想、まち歩き観光を推進し、にぎわいの創出、市街地の活性化に取り組んでほしい。



小浜市まちなかの駅（旭座）

◆議案第73号 小浜市水産業活性化拠点施設の指定管理者の指定について

【説明】平成31年4月1日から5年間、うちとみ漁村の会を小浜市水産業活性化拠点施設（旧田島小学校）の指定管理者に指定するもの。

【問】指定管理者から納付金を徴収することなどは適正か。

【答】納付金を支払ってでも、当施設を生かして生産拡大、販路開拓に取り組みたいとの考えで、意欲ある事業者を応援すること、地元産業の活性化につなげていきたい。

【問】地域住民のかかわり方、水産加工品などの販売方針は。

【答】内外海地区未来漁業プロジェクトの活用計画に基づき、地元内外海地区民の意見を取り入れながら進めている。販売は、材料を厳選したり、伝統的でこだわりのある製法を用いて、付加価値を高めた商品を販売していく。



議員定数 18 人を維持

～議会運営委員会が議長に答申～

小浜市議会では、平成 27 年 6 月に議長から諮問を受け、議会運営委員会において議員定数、議員報酬等について検討を重ねました。検討結果に基づき、平成 30 年 12 月 17 日に議長へ答申を行いました。

■議長からの諮問

本市の議員定数は、小浜市議会議員定数条例で 18 人と定められています。この議員定数 18 人により、平成 19 年 4 月以降、これまで 3 回の市議会議員選挙が執行されましたが、近年、全国的に国民の政治への関心が薄れつつあり、本市においても、平成 27 年 4 月の市議会議員選挙では無投票となりました。

こうした中、平成 27 年 6 月に議長から議会運営委員会に対し、議員定数、議員報酬等、議会のあり方と議員の待遇など、議会改革に関する諮問を受けました。また、この議員定数、議員報酬については、議会運営委員会でき取り組んでいる「小浜市議会基本条例」の検証・見直しにおいても、検討すべき重要な項目であることを確認して、これまで、延べ 13 回の検討委員会を開催し、議員定数、議員報酬について検討を重ねました。



■検討内容

委員会では、議員定数等を検討するにあたり、基本的な進め方としてさまざまな観点から検討することとし、人口、地域単位、アンケート結果、有識者の意見、委員会数等市民に見える方法、議会活動に必要な適正な人数などの論点を洗い出し、論点ごとに順次整理を行いました。

また、議員定数等については、小浜市議会の将来、また議員の身分にかかわる重要な事項であることから、全議員での政策討論会を開催し、それらの意見も踏まえて、その結果を取りまとめました。

■18人が適正

現在の議員定数が適正か否かの判断について、さまざまな論点の中で、市民アンケートでの「議員定数が多い」という回答、議員自ら身を切る改革を進めるべきなどとの意見を考慮しつつも、常任委員会の構成や市民の多様な声の反映、議会機能の維持など、議会活動に必要な適正な人数を重要視し、現在の議員定数 18 人が適正であるとの結論に達しました。



なお、財政規模、類似団体等との比較、有識者等の意見、女性、若者の政治参加などの観点から 18 人が妥当という判断に至りました。

■今後のこと

二元代表制の一翼を担う地方議会には、執行機関の監視という機能はもとより、政策立案や議会改革に積極的に取り組むことが重要であり、地方議員に課せられた使命、責任を着実に果たしていかねばなりません。

今後、さらなる議会改革を進める中で、審査、調査の充実を図るための常任委員会のあり方や、市民からの意見、要望を広く聴取し、反映させる仕組みづくり、さらには、議会活動の見える化、市民に議会への関心を持ってもらうための取り組みを実施していき、市民の意思を代表する「市民とともに歩む開かれた議会」の実現を目指します。

議員定数・議員報酬に関する検討結果報告は小浜市議会ホームページでも掲載しています。

北陸新幹線の早期全線開業に向けて

北陸新幹線早期全線開業特別委員会 管外視察報告

□実施日 平成30年10月30日(火)～31日(水)

□視察先 長野県飯山市(人口2万人)・新潟県上越市(人口19.2万人)

駅前と駅周辺の開発計画、2次交通、駅舎の整備と機能、まちづくり等について調査を行いました。



飯山駅(飯山市)

長野県飯山市

駅周辺は、駅前広場や周辺道路整備、宅地造成、商業施設の誘致、飯山線の駅舎の移設が行われ、パークアンドライド広場や、409台収容の立体駐車場、73台の平面駐車場、近接して500人収容の「文化交流館なちゅら」が整備されていました。さらに、新幹線駅機能の充実を図るため、駅舎に飯山観光交流センターを併設して、エスカレーターやトイレ等、広域観光強化のため観光情報案内所や交流ホールを整備するなど、規模や具体的な取り組みが参考になりました。



上越妙高駅前施設(上越市)

新潟県上越市

駅周辺地区を駅周辺にぎわいゾーン、商住複合いきいきゾーン、やすらぎ住宅の3ゾーンに分けて用途地域を定め、一定の遊技施設や風俗系店舗を制限し釜蓋遺跡を活かす動線等を定めて良好な環境の形成を図るため、適正な規模・機能の商業・業務施設を誘導していました。また町並み検討会議において「百年先も愛される越後百会のまちづくり」をテーマに、現在も整備が進められています。

要望活動報告

□実施日 平成30年11月5日(月) □要望先 福井県・福井県議会

北陸新幹線の早期全線開業について、北陸新幹線早期全線開業特別委員会が、藤田議長、松崎市長とともに、福井県および福井県議会へ要望活動ならびに意見交換を行いました。

○福井県

知事 西川一誠
(代理 豊北総合政策部長)

○福井県議会

議長 山本文雄
議員 中川平一
議員 西本正俊
議員 小堀友廣



福井県議会(福井県議会議事堂)

意見書の可決

12月定例会において北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書を提出し、賛成全員で可決されました。

○北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書(一部抜粋)

(前文省略) 北陸新幹線全線開業を1日も早く実現するよう、次の事項について強く要望いたします。

1. 詳細なルートや駅の位置を決める調査を速やかに進め、環境アセスメントに着手すること。
1. 敦賀・大阪間の建設財源を早期に確保し、環境アセスメント終了後は、間断なく整備を進め、北海道新幹線・札幌開業(2030年度末)より早い大阪までの早期全線開業をすること。



市政を問う！一般質問

平成30年第4回（12月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	風呂 繁昭	1. 中期財政計画について 2. 食のまちづくりについて 3. 観光局について	10	下中 雅之	1. 小浜市総合戦略について 2. 小中学校の統合・再編について
8	西本 清司	1. 小浜市の産業振興について 2. 小浜市の「上・下水道事業」について	10	三木 尚	1. 企業誘致について 2. 市の観光方針を問う 3. 災害対策について 4. 婚活イベントについて
9	佐久間 博	1. 婚活事業とよろず相談所について 2. 小浜市の誇れる食のまちづくりについて	10	竹本 雅之	1. 福井国体・障スポを終えて
9	牧岡 輝雄	1. 平成31年度重点課題への取り組みについて 2. 雇用計画について	11	能登 恵子	1. 猿被害対策について 2. 坂井市「さかいドラレコ隊」について 3. 風疹任意予防接種に対する費用助成を 4. 防災士の活用を
9	熊谷 久恵	1. 食のまちづくり原点回帰の方向性 2. 持続可能な里山里海計画にするには			



風呂 繁昭
議員

問 中期財政計画について。今後5年間は歳入に見合うだけの歳入を得ることができないから財政調整基金（貯金）を取り崩すと現在の14億円台から7億円台へと半減する。さらなる行財政改革が必要と考えますが。

答 「小さな行政への転換」「経営感覚を持った行政機構の整備」等の取り組みを進めている。国や県の補助制度に関する情報収集に努め、事業の取捨選択、公共施設等の維持補修費や大型公共事業の年度間の平準化を図っていく。

問 食のまちづくりについて。財政状況が厳しいからこそ、地方は地方の特色を出して一層取り組み、魅力あるまちづくりとして取る

財政状況が厳しいからこそ地方の特色を

り組まなければならない。小浜は全国に先駆けて取り組んできた「食のまちづくり」を、より一層加速化する為、厳しい財政状況ではあるが予算を重点的に配分して取り組んでいく必要があるのでは。

答 小浜の活用すべき資源はやはり、歴史と伝統を誇る「食」であると考え食に関わる産業を「基盤産業」へと育てる事に取り組んできた。「地消地産」という考え方をもち、地元で消費されているものを、地元で作れる様に取り組む事も重要。

問 観光局が行う古民家宿ビジネスについて近隣住民からの不安があるが認識は。

答 所定の要件を満たした上で許可をいただいたが、地元の皆様の不安を払拭するための事前説明会開催等、細かい配慮に欠けていたところがあった。意を配して取り組む。近隣の皆様のご理解を。



西本 清司
議員

問 市の産業振興について、産業構造の変化、今後の取組み策や方針はどのようなものか。

答 10年前と比較して1次、2次産業共に就業者全体比率、人数共に減少、3次産業の率は増加しているが、人数比でわずかに減少となっている。農林水産業は食の供給のみならず、地域の暮らしを守る役割を果たしており、重要な基幹産業として、持続的な発展を目指し各種の施策を講じている。1次2次産業においても支援し、経済活性化の牽引役としての対策等を行う。財政的には厳しい面もあるが、北陸新幹線開業までに、企業誘致等あらゆる方策を模索し現在方向づけを行っている。国の地方創生活付金も活用しながら、最大限の選択肢を視野に入

産業振興策や、上下水道事業の現状は？

れ計画 実施をしていきたい。

問 上・下水道について、事業の経緯や管理・会計等、また、今後の課題等を問う。

答 水道事業は水道法に基づき計画給水人口が5001人以上は上水道、5000人以下が簡易水道事業と定められ、簡易な施設の意味ではない。現在普及率は約98%。上水道は昭和36年、簡易水道は平成元年に給水開始している。公共下水道事業は平成3年、集落排水事業は昭和63年から事業開始し、現在普及率99.5%で県内トップクラスである。会計は特別会計、企業会計等で市の一般会計とは別会計で運営している。今後予測で、利用者数減少、使用料収入減少が避けられず、上・下水道事業共に統合運営も検討課題となるが、あくまで利用者負担の原則は変わらず、理解をお願いしたい。

一般質問



佐久間 博
議員

問 婚活事業のこれまでの取り組みと現状は。

答 「OBAMA」で写真お見合い会、婚活イベントで成婚七組です。近隣市町からの登録者が増加している。

問 富山県南砺市の婚活事業で学んだ事は。

答 出会いの創出に留まらず、婚活能力アップの学習を行いたい。

問 南砺市のように専任職員は置けないか。

答 専任職員配置は難しいが、民間の協力を得て方策を考えたい。

問 定住人口増加のために市民により添った場「よろず相談所」を婚活の事務所兼ねた設置を考えてはどうか。

答 婚活事業は重要な庁舎二階に親しみやすいネーミングの相談室にと研究、検討する。

婚活事業強化と食のまちづくり躍進を！

問 JAXAの宇宙日本食に選ばれた経緯は。

答 小浜水産高校から若狭高校へと研究を続けて「サバ醤油味付け缶詰」が全国初の高校生が開発食品となる。

問 こっぴんA級グルメのまち連合とは。

答 島根県邑南町等五市町村で「食」により交流人口や定住人口の増加を目指し、人材交流、育成に取り組む。

問 重点施策の生涯食育や義務食育の今後は。

答 地産地消の推進や食に関した産業の活性化等に数値目標を立てて取り組む。

問 県内唯一の自校式の学校給食調理員不足の現状と今後は。

答 現在四名不足、健全やかな人間性や郷土愛を育むのに重要である食育の理念に立ち返り調理員待遇改善をする。

問 食のまちづくりの目標と方向は。

答 全国に誇れる「食のまち」にして定住人口の増加を目指したい。



牧岡 輝雄
議員

問 全国的に障がい者雇用が問題になっていく。本市において福井労働局との見解の相違により、現在、法定雇用率に達していない。政府は、法定雇用に向けて障がい者限定の採用試験を実施するなど、雇用対策を打ち出したが、本市の対応は。

答 障がい者雇用は、障がいのある人もない人も同じように生活活動できる「共生社会」の実現が重要、こうしたことから、臨時・非常勤職員の任用において、新たに障がい者枠を設けることや、正規職員についても平成32年度の採用に向けて、来年度、募集を行うなど障がい者雇用に積極的に取り組む。

問 「障害者雇用促進法」が平成28年度に改正され、これを受けて平成30年4月から、国や地方公共団体を含むすべての事業主には、法定割合以上の雇用義務が定められた。変更点は3つ。1つは対象に精神障がい者が追加、2つ目は法定雇用率の引き上げ、3つ目は精神障がい者の短時間労働者算定方法の変更である。本市における採用職種は一般行政職と技能労務職と認識しているが、これらの変更を踏まえて障がい者雇用をどのように考えているのか。

答 現在、本市の障がいを持った職員は庁内の事務のほか、庁外の施設や作業等の仕事に従事している。雇用にあたっては、各課と協議を進めており、一人でも多くの障がいを持った方々に、雇用の機会が提供できるように受験要件の拡大など見直しを行い、来年度からの雇用に向け、早く調整し募集していく。

障がい者法定雇用の取り組みについて

問 食のまちづくり重点回帰の方向性は。

答 道具を含む食関連産業の基盤産業化の取組みの継続に加え、地域内経済循環の視点も持ち、地域の農林水産業、加工・流通業、飲食・宿泊業など食に関わる全ての人々が、地元食文化を再認識し、連携しながら高め合う関係を作り、地元食材の調達率を高め、さらに地元で消費されているものを地元で作る「地産地消」に取り組むことも考えている。このように地域内経済循環すること、農林水産業を根幹とする食関連産業の活性化に加え、交流人口の増加にも直接つながると確信している。

問 次世代に引き継ぐ川づくりには、地域の



熊谷 久恵
議員

人々や漁業者、河川管理者等と情報共有や情報交換の場が必要では。

答 国は自然の営みを視野に、生物の生息・生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全・創出すべき「多自然川づくり基本指針」の中で、川づくりの各段階で市民が積極的に参画できるシンポジウムやワークショップ等の仕組みも示している。指針を踏まえた上で、地域や漁業者の方なども参画し進めることが重要だと考えるため、河川管理者との情報共有や意見交換の場を設けることを協議していく。

問 豊かな里山里海を持続可能にするには、海、川、里、山の関係者が方向性を共有し、市民の理解を得て取り組むことが必要では。

答 課題や認識の共有は重要と考え、連携できる場を設けて、市民に気付きを与える仕掛けなど、市民と行政が一体となり推進したい。

関係機関の連携と市民理解が未来を創る

関係機関の連携と市民理解が未来を創る



下中 雅之
議員

問 若い世代や女性の雇用創出を図るための職種や雇用条件、生活環境の不適合などによる雇用のミスマッチ解消に向けた取り組みについて伺う。

答 今後は、多くの若い世代が就職を希望する事務職の受け皿として、研究機関や本社機能を地方に移転していただける企業、また、サテライトオフィスなどの企業誘致に努めたい。女性が働きやすい環境づくりを積極的に進めている企業のPRを図りたい。

問 小浜市の人口の自然増減については、2004年以降自然減の度合いが大きいことから、少子化対策など自然増につながる所見を伺う。

答 少子化対策につ

めざすべき人口減少抑制に向けた方向性

ては、子育て支援として、平成27年度から31年度までの5か年を二期として策定した「小浜市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、社会全体で子育てを支援し、仕事と子育てを両立できるように、環境整備を行っているところである。

問 市内の小中学校の児童生徒数は、年々減少していることに対して、小浜市の小中学校の統合再編の計画に対する所見を伺う。

答 小学校の統合再編については、小浜美郷小学校の建設事業費が市の財政面に与えた影響、学校統合による児童への教育効果及び、地域に与える影響なども重要であり、様々な角度から総合的に計画を見直したい。中学校については生徒数も減少がみられ、今後その傾向が続くものと推測すると、再編について検討していく必要があると認識している。



三木 尚
議員

問 加斗地区において進めている企業誘致について進捗状況を伺う。

答 現在、民間企業1社からの進出希望があり慎重に交渉を継続している。各種申請の手続き等も確認しながら確実な誘致につなげていきたい。

問 当初の計画の企業団地構想と並行して進めるべきでないのか。

答 既に企業1社が名乗りを上げている状態であり、企業の準備が整い地元の了解を得たのち用地買収や造成を行う予定である。企業と市が連携しながらできるだけ早く実現に結び付けたい。

問 市内公衆トイレの効果や今後の計画について。

答 利用頻度が低いものもあるため、地域住民の意見も聞きながら

加斗地区の企業誘致は進展しているのか

策定中の公共施設個別施設計画の中で検討していきたい。

意見 和式の複数のトイレから車イス対応の洋式男女1つずつにまとめていくのが観光のまちにふさわしい。

問 エンゼルラインをもっとPRすべきでは。

答 重要な観光素材として認識している。更に情報発信の強化に努めていきたい。

問 大型台風が頻発しているが南川被災の際の最大の弱点はJRの鉄橋ではないか。

答 県管理であり現在、河川断面を広げるなどの改修計画は策定されていないため市の重要要望として毎年挙げている。

問 婚活イベントに寺社仏閣にも協力してもらい場所、法話等も交え、小浜市の総合力でアピールできないか。

答 今までに小浜の名所を巡る企画も実施してきた。実行委員会において更なる出会いの創出に努力したい。



竹本 雅之
議員

問 国体終了後の競技力向上のための取り組みを伺う。

答 競技団体の組織的、計画的な選手強化体制を効果的に実施する必要があり、中でも競技者や指導者の人材育成が重要である。

ジュニアの人材育成は重要であり、今回、将来自らがプレーしたいという青少年を増やす絶好の機会になったと捉えている。この機会に、各種スポーツ教室の積極的な実施、競技力向上を担う指導者育成や各競技団体等の組織強化に継続的な支援を実施する。

問 国体開催のために整備した競技会場の今後の利活用を伺う。

答 総合運動場の多目的グラウンドの芝生化は、施設の利便性・快

大会の経験を財産として「大会成功」へ

適性が向上し、今後の利用者増に繋がるものと期待している。施設の水準に見合うスポーツ大会の開催やスポーツ合宿の誘致活動に積極的に取り組み、交流人口の増加を図り、地域の活性化に繋げていきたい。

問 国体・障スポを終えての総括を伺う。

答 市民の皆様には何らかの形で国体・障スポに参加いただけたと感じるとともに、大変盛り上がりを見せた大会であった。

本市開催の競技を根付かせていくとともに、全国レベルの大会やスポーツ合宿の誘致などを通し、交流人口の拡大や有能な競技者、指導者の育成を目指していきたい。

意見 大会で得た貴重な経験を、有形、無形の財産として引き継いでいくことが、「大会の成功」につながる。成功への取り組みをお願いする。

一般質問

〔答〕 小浜警察署は、現時点で検討していないが、小浜市として安心・

導入を求める。
〔問〕 「坂井市『ドラレコ隊』について」「ドライブレコーダー設置の市民と、交通安全意識の向上や記録映像の提供で犯罪などの特定を可能にする取り組みですが、自分の身の安全も証明されることから導入を求める。」

〔答〕 今年度より、県の予算で「サル」の群れの行動圏調査」を実施。来年度より、大型檻の設置場所を選定し、猟友会と捕獲・駆除に取り組みとともに、集落主体の追い払い研修会も行う。

〔問〕 「サル被害対策について」農村部から小浜西部地区や西津地区へと移動している現実、対策を伺う。



能登 恵子
議員

小浜市の安心・安全のため、4項目を

〔答〕 災害時や平時において防災士の方々に地域・社会の防災リーダーとして行動願う。

〔問〕 「防災士の活用について」防災士の資格を持つ方が増える中、小浜市として活用ができていない状況を改善し、災害の多い今、活躍する場所を。

〔答〕 国は、2020年までに流行を収束させるため、感染リスクの高い39歳から56歳までの男性に抗体検査を無料にし予防接種を実施する方向。

〔問〕 「風疹任意予防接種に対する費用助成を」異常な風疹の流行により先天性風疹症候群を避けるため、9市町は風疹予防接種を無料化しています。そこに小浜市が無かった中で、危機感をもって尋ねる。

安全のためにできることとはないか研究、検討していきたい。公用車にも、計画的に設置したい。

広報委員会 管外視察研修報告

実施日 平成30年10月22日(月)～23日(火) 視察先 鳥取県大山町議会・鳥取県北栄町議会
研修内容 議会広報作成の組織体系、取材や編集等について

鳥取県大山町議会

広報常任委員会は8名で組織され、全議員が議員任期中1回は必ず担当されています。紙面はA4版32ページで、言葉づかい表記に留意し、むずかしい言葉には解説やルビを入れ、写真や空白を用い読みやすい構成にされており、編集理念は、住民目線で読みやすい内容と議会だけにしかない情報を意識し、会議録や活動報告ではなく情報誌にすることでした。一般質問は件数で文字数割り当てとなっていたほか、町民の声も毎号取り上げて紹介されていました。全国町村議会コンクールにて度々優秀賞を受賞されている鳥取県大山町議会の紙面構成は大変参考になりました。



鳥取県大山町議会

鳥取県北栄町議会

広報広聴常任委員会6名で構成され、紙面はA4版で、6・12月16ページ、3・9月24ページの年間80ページです。編集方針は町民目線で「正しく、見やすく、読みやすく」で、中学生にも読んで親しめる広報紙づくりを心がけられていました。情報開示のみならず、重要議案は議員の態度と討論を公表し、町民の評価がなされるように努力されていました。一般質問はテーマ毎に編集され、答弁内容の進捗等の追跡記事も掲載されていました。また、取材時に腕章を付けるなど、町民への気遣いや配慮を感じ、取材や編集の姿勢が参考となった視察でした。



鳥取県北栄町議会

議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

10月

日	曜	行事等内容	出席者
1	月	共同募金・街頭募金活動	議長
3	水	国民体育大会・福井しあわせ元気大会 ウエイトリフティング競技会審判監督 会議	議長
		国民体育大会・福井しあわせ元気大会 ラグビーフットボール競技会開催関係 者懇親会	議長
4	木	小浜市・若狭町・高島市総合振興協 会正副会長会議	関係議員
		国民体育大会・福井しあわせ元気国 体・軟式野球競技開会式	議長
5	金	国民体育大会・福井しあわせ元気国 体ウエイトリフティング競技会階級別 表彰式	議長
6	土	国民体育大会・福井しあわせ元気国 体ウエイトリフティング競技会	議長
7	日	国民体育大会・福井しあわせ元気国 体軟式野球競技会表彰式	議長
8	月	国民体育大会・福井しあわせ元気国 体ウエイトリフティング競技会階級別 表彰式・総合表彰式	議長
9	火	小浜市表彰選考委員会	議長
		国民体育大会・福井しあわせ元気国 体総合閉会式(福井市)	議長
10	水	本会議、全員協議会	全議員
		議会運営委員会、広報委員会	関係議員
13	土	福井しあわせ元気大会開会式(福井市)	正副議長
15	月	福井しあわせ元気大会閉会式(福井市)	議長
16	火	政策討論会	全議員
		総務民生常任委員会	関係議員
17	水	福井県市議会議長会 中央要望活動 (東京都)	正副議長
		岐阜県中津川市議会行政視察受け入れ	関係議員
18	木	北陸新幹線早期全線開業特別委員会、 議会基本条例検証・見直しワーキング グループ会議	関係議員
20	土	川越まつり(埼玉県川越市)～21日	議長・関係議員
		OBAMA 食のまつり開会式	副議長
22	月	広報委員会管外視察(鳥取県大山町・ 北栄町)～23日	関係議員
23	火	福井県原子力環境安全管理協議会 (敦賀市)	議長
24	水	小浜市戦没者追悼式	全議員
25	木	宮崎県延岡市議会行政視察受け入れ	議長
		北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
26	金	福井県市町議会議長合同研修会(福井市)	全議員

29	月	若狭消防組合議会	関係議員
		岐阜県御嵩町議会行政視察受け入れ	関係議員
30	火	全国広域連携市議会議長会理事會(東京都)	議長
		北陸新幹線早期全線開業特別委員会管外 視察(長野県飯山市・新潟県上越市)～31日	議長・関係議員

11月

日	曜	行事等内容	出席者
		議会運営委員会	関係議員
2	金	三重県度会町議会行政視察受け入れ	副議長
		福井県後期高齢者医療広域連合議会定 例会(福井市)	議長
		議会報告会(小浜・雲浜・西津・速岐)	全議員
3	土	小浜市表彰式、総合文化祭開会式	全議員
5	月	小浜市・若狭町・高島市総合振興協 会要望活動(滋賀県庁ほか)	関係議員
		北陸新幹線早期全線開業特別委員会 福井県・福井県議会要望活動(福井県庁)	議長・関係議員
6	火	埼玉県春日部市議会行政視察受け入れ	正副議長・関係議員
7	水	商工優良従業員表彰式	議長
		全員協議会	全議員
8	木	総務民生常任委員会	関係議員
		議会報告会(国富・宮川・口名田・加斗)	全議員
9	金	「御食国若狭おばま」杯親善ソフトバ レーボール大会開会式、大会歓迎レセ プション	議長
11	日	小浜市総合文化祭短歌大会	議長
12	月	公立小浜病院議会管外視察(石川県白山市)	関係議員
13	火	中央要望活動(東京都)	議長
14	水	全国市議会議長会研究フォーラム (栃木県宇都宮市)～15日	議長
16	金	議会報告会(内外海・松永・今富・中名田)	全議員
18	日	健やかふるさと料理の会	議長
19	月	若狭消防組合議会管内視察	関係議員
20	火	福井県市議会議長会議員研修会(あわら市)	全議員
22	木	議会運営委員会	関係議員
23	金	企画展「幕末小浜藩 近代日本を創生し た人々の思い」オープニングセレモニー 新幹線とまちづくり「新幹線講座」	全議員
25	日	マリノカの会設立40周年記念講演会	議長
26	月	全員協議会	全議員
		北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
27	火	福井県原子力発電所準立地市町連絡協 議会 中央要望活動(～28日)	議長

28	水	議会基本条例検証・見直しワーキング グループ会議	関係議員
29	木	西小川・加尾・宇久道路改良促進期成 同盟会総会	議長ほか
		若狭消防組合議会代表者会議	関係議員
30	金	本会議、予算決算常任委員会	全議員
		広報委員会	関係議員
		株式会社ケーブルテレビ若狭小浜役員会	議長

12月

日	曜	行事等内容	出席者
3	月	総務民生常任委員会、総務民生分科会	関係議員
		嶺南広域行政組合議会代表者会議 (美浜町)	関係議員
4	火	産業教育常任委員会、産業教育分科会	関係議員
5	水	議会運営委員会、産業教育常任委員会	関係議員
7	金	小浜市防犯隊年末警戒出動式	議長
8	土	文化防防火訓練	議長
10	月	若狭消防組合議会代表者会議	関係議員
13	木	本会議	全議員
		議会運営委員会	関係議員
14	金	本会議	全議員
		各派代表者会	関係議員
15	土	「杉田女白賞」表彰式・記念講演会ならび に杉田玄白・中川淳庵先生顕彰祭	全議員
		小浜男女共同参画のつどい	議長
17	月	予算決算常任委員会、全員協議会	全議員
		地域防災・原子力安全対策特別委員会、 北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
		若狭広域行政事務組合議会代表者会議 (若狭町)	関係議員
18	火	議会基本条例検証・見直しワーキング グループ会議	関係議員
19	水	京都大原今津小浜間国道整備促進期成 同盟会・騎街道まちづくり連絡協議会 合同要望(滋賀県庁)	議長
21	金	本会議、全員協議会	全議員
		議会運営委員会	関係議員
23	日	障がい者問題を共に考えよう小浜 フォーラム	議長ほか
25	火	広報委員会、若狭消防組合議会	関係議員
26	水	原子力発電小浜市環境安全対策協議会 常任委員会および委員研修	議長ほか
		嶺南広域行政組合議会(敦賀市)	関係議員
27	木	公立小浜病院組合議会・研修会	関係議員
		若狭広域行政事務組合議会定例会(若狭町)	関係議員

編集後記

明けましておめでとうございま
す。市民の皆様には健やかに新春
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

第17期小浜市議会の議員任期も
3ヶ月程を残すところとなりまし
たが、この間「議会だより」を親近
感のあるものに、また議会広報の源
となることを目指して取り組んで
まいりました。

議会がどのような事案・内容を
議論・審議しているのかを市民の皆
様により一層ご理解いただけるよ
う努力をし、また本市の議会運営
に、市民の皆様のご意見を反映さ
せられればと考えて編集してまい
りました。

「議会だより」には市民の皆様の
声が必要で、市民の皆様と一緒につ
くっていきたく思っております。
今後ともご意見・ご要望などの
他、何でも結構ですので、お寄せ
いただきますようお願い致し
ます。

広報委員会委員長 西本清司